

# ノリ養殖環境速報 KH-01-05 (播磨灘)

令和元年12月12日 発行

調査年月日: 令和元年12月11日

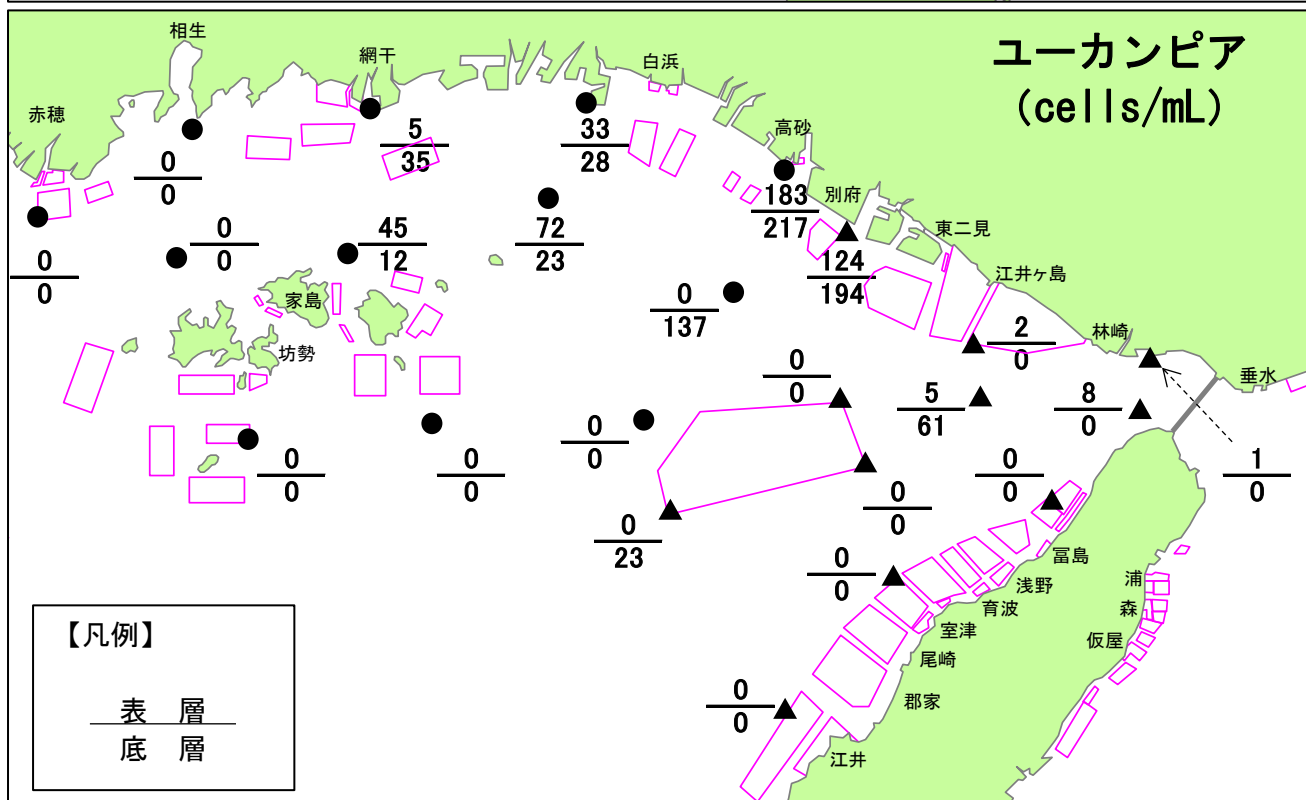
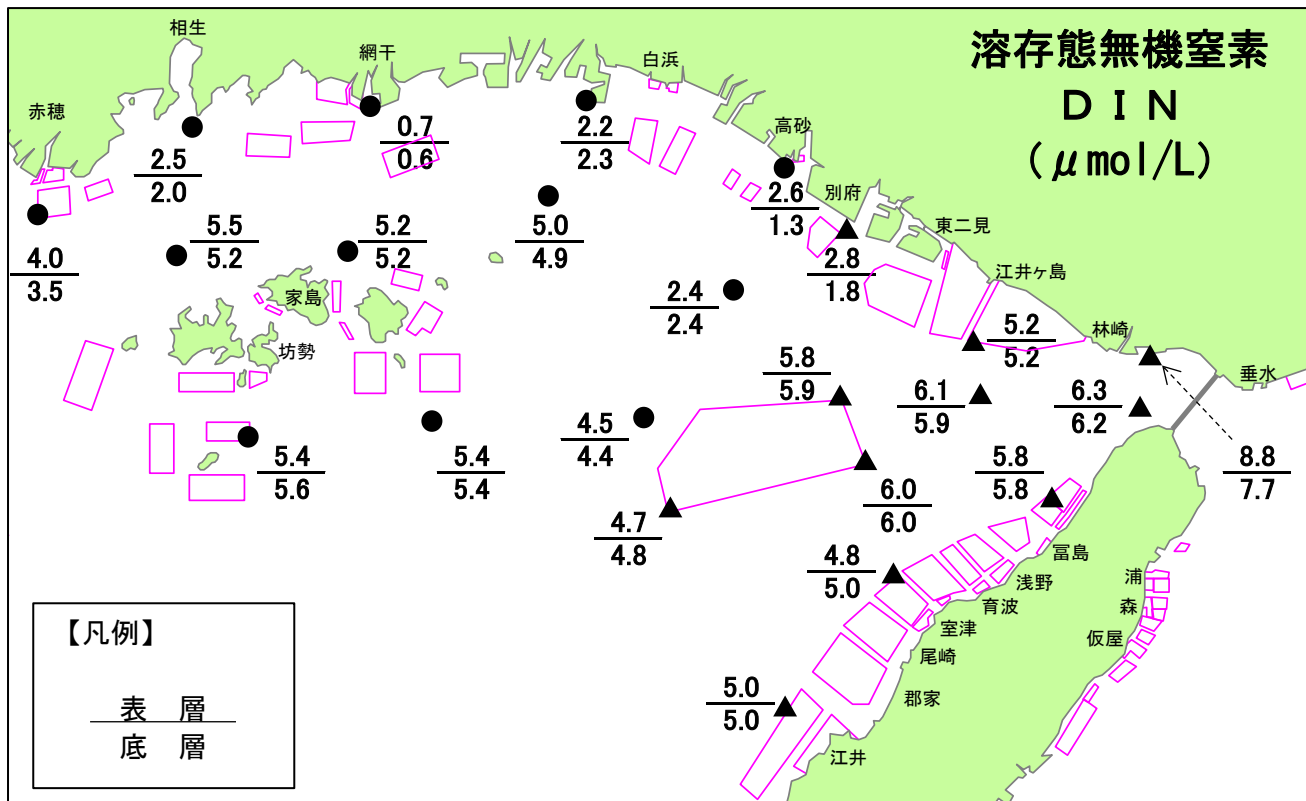
[調査箇所は地図上に●(西部)および▲(東部)印で表示しています。]

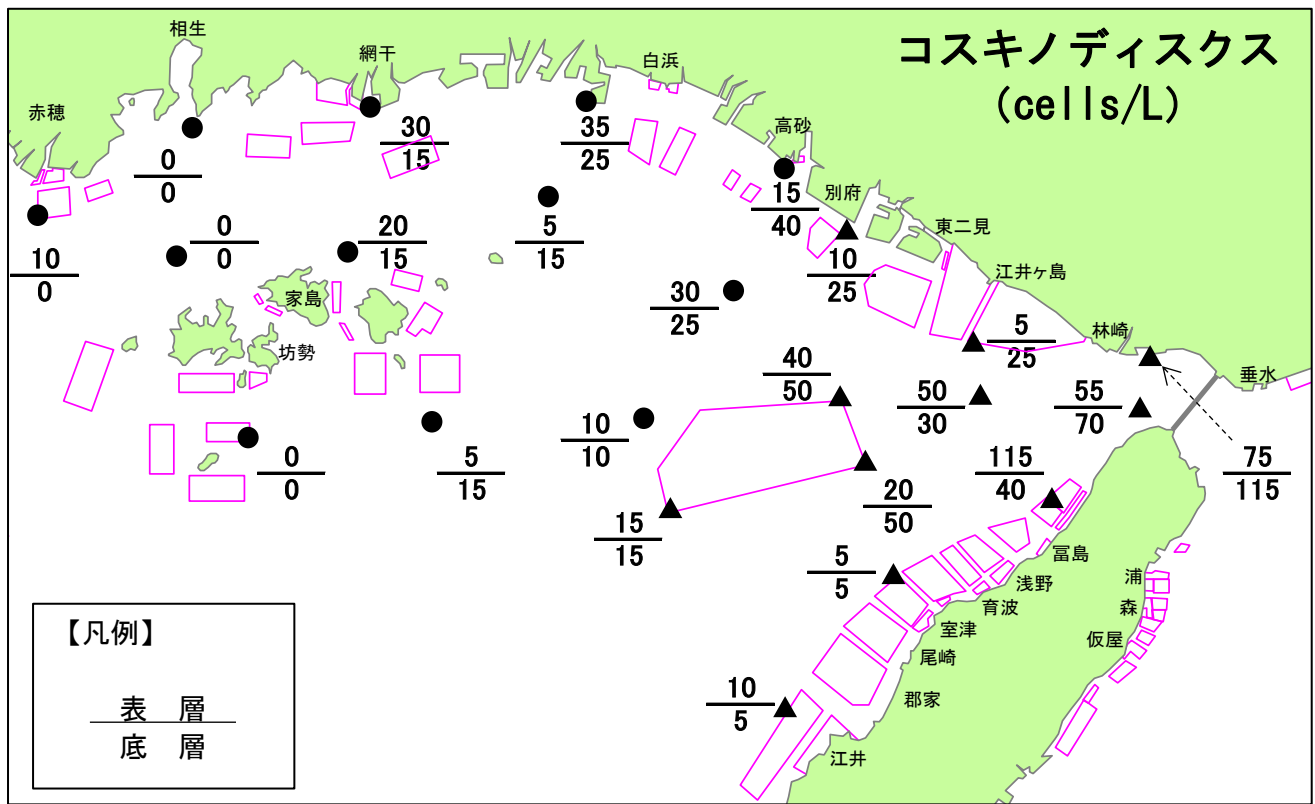
## 概況

播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、西部では0.7~5.5 $\mu\text{mol/L}$ の間、東部では2.8~8.8 $\mu\text{mol/L}$ の間で推移しています。家島周辺及び鹿ノ瀬周辺では概ね5 $\mu\text{mol/L}$ 前後となっています。

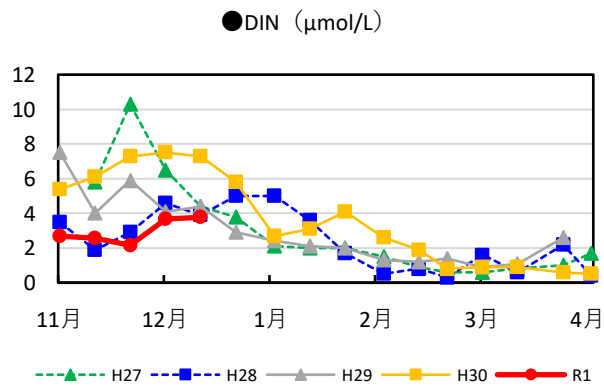
高砂から別府にかけての沿岸部を中心に、大型珪藻のユーカンピアが発生しています。前回よりも減少傾向にありますが、今後の動向にご注意下さい。

水温は、白浜以西では13.8~14.5 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では14.9~16.7 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で14.8~16.3 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では16.2~16.9 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では16.1~16.6 $^{\circ}\text{C}$ でした。

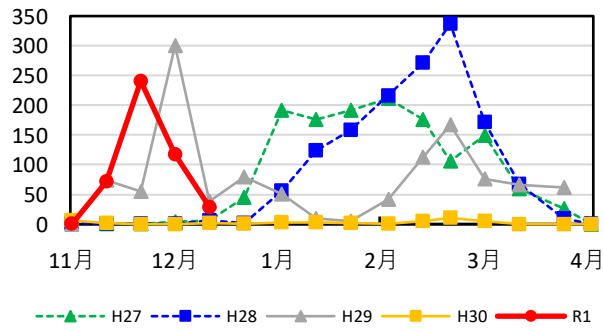




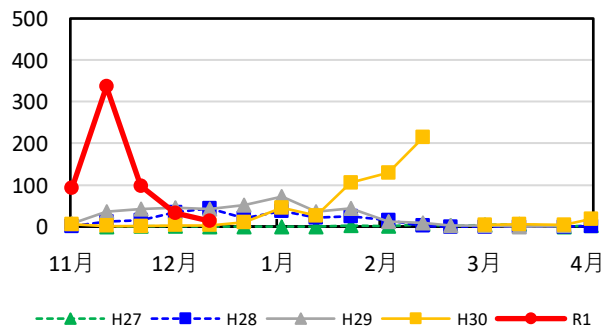
西部(●)12点 表層平均



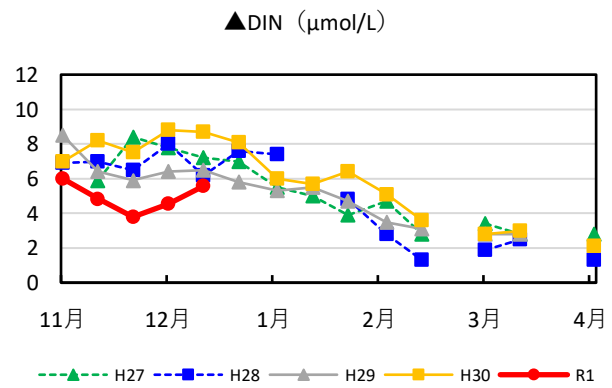
●ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)



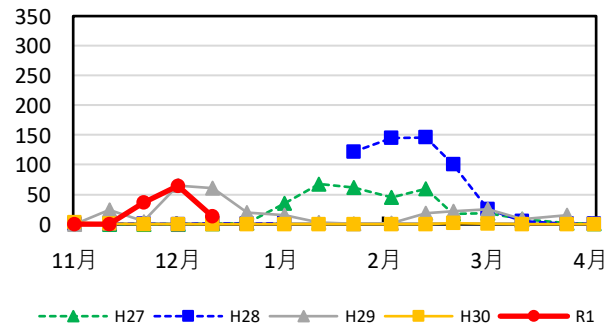
●コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)



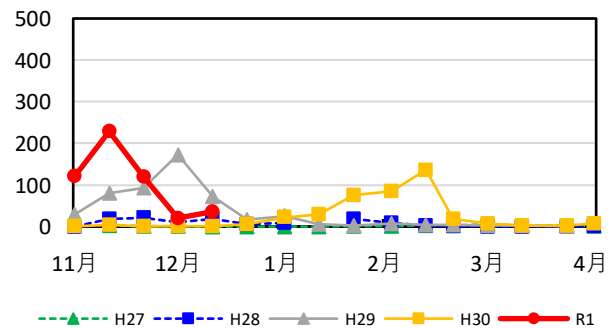
東部(▲)11点 表層平均

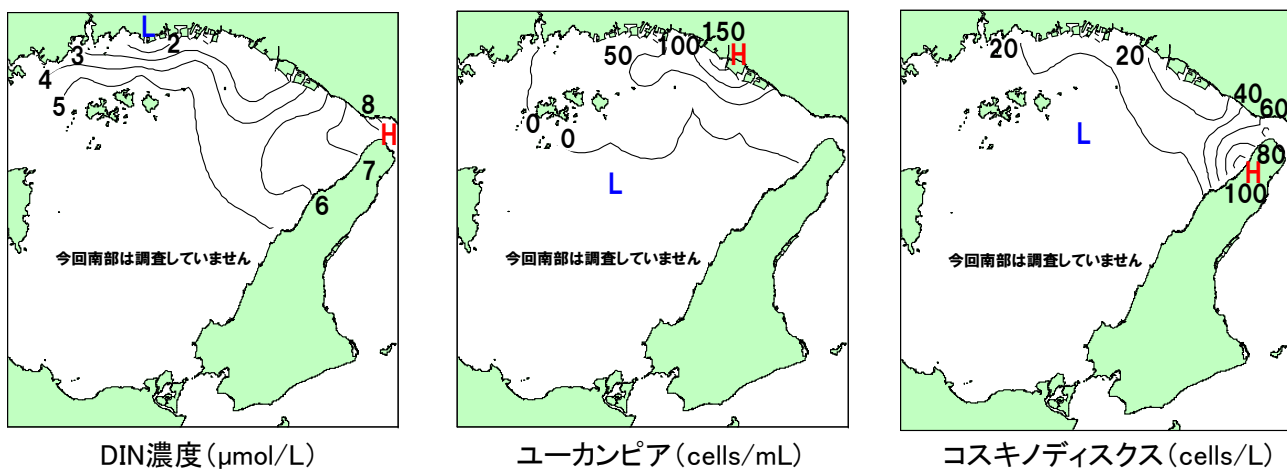


▲ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)



▲コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)





### 令和元年12月11日の水平分布状況(表層、実測値)

(Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています。)

#### 播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は、全体的に前回よりも上昇しており、播磨灘の東側から沖合にかけて高く、西部沿岸で低い結果でした。

大型珪藻のユーカンピアは、高砂から別府にかけての沿岸部を中心に発生しています。前回よりも減少傾向ですが、今後の発生状況次第ではDIN濃度が減少する可能性もありますので、動向にご注意下さい。

コスキノディスクス・ワイレシーは淡路島北部沿岸を中心に残存するものの、前回に比べ広い範囲で減少し、今後も減少していく見込みです。

#### 週間天気予報 気象庁12月11日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、北部では高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日がある見込みです。中部や南部では、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より高く、平年よりかなり高い日がある見込みです。

降水量は、平年より少ないでしょう。

#### その他の情報

- ・岡山県の情報は12/4に、香川県の情報は12/10に更新されています。
- ・他県の調査については、以下のURLから参照してください。

岡山県：<http://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>

香川県：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【参考】栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

#### 【今後の予定】

- ・令和2年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。
  - ・次回は令和元年12月24日頃に発行する予定です。
- ※この情報は、水産技術センターホームページ (<http://www.hyogo-suigi.jp/>) でもご覧いただけます。